

生命の授業を実施しました

2月28日(火)5, 6校時、3年生を対象に、行田中央総合病院の助産師・鈴木弘子先生を講師に招き、「生命の授業」を実施しました。

今回は、生命の誕生、性感染症、望まない妊娠、デートDV、性の多様性など、命や性に関する内容についてお話をいただきました。

思春期から大人へと成長していく皆さんが性についての正しい知識を持ち、適切な判断と行動をしていくことはとても大切です。自分自身やパートナー、そして周囲の方々を大切にしながら、幸せな人生を歩んでいってほしいと思います。



生徒の感想から



- 今回の授業を受けて、自分のことを今まで以上に大切にしようと思いました。将来に必要な知識や考え方を学ぶことができ、これからどのようなことを意識して生活していけば良いのかを考える良い機会になりました。これからも自分の身体や心と向き合いながら生活していこうと思います。
- 今回の授業を通して、赤ちゃんを産むことがどれだけ大変で、性行為をすることにどれだけ責任が生じるのかを知ることができて良かったです。赤ちゃんの命が誕生する確率は3億分の1ということを知り、本当にわずかな確率で生まれて来る命は尊いものだとわかりました。
- 性行為について正しい知識を得ることができました。自分の考えていたことやネットで見て知ったものがデタラメだということを知ることができて少し安心しました。また、「体の性」だけでなく、「自分が思っている心の性」や「恋愛感情を抱く性」で悩んでいる人がいると聞いて、その人たちを理解してくれる人がもっと多くなれば良いと思いました。
- 赤ちゃんを産む前も大変だし、産んだ後も大変だから、中途半端な気持ちで産むということを考えない方が良くと思いました。命はとても大切なもので、生まれてきた子が不幸にならないように妊娠することを考えないといけないことがわかりました。
- 近年、梅毒が増加傾向にあることや、口と口でも感染してしまう病気があることを知って驚きました。また、マッチングアプリなどによって性的なトラブルや事件が増えていることも知りました。
- 男性と女性が互いを思いやり同意を得ることが大切なことや、望まぬ妊娠をしてしまった女性は体だけでなく心にも傷を負ってしまうことなど、自分があまり知らなかったことを多く学ぶことができました。また、性感染症の怖さや、どのように感染するのかなどを学びました。
- 性の多様性について学ぶことができ、そういう人たちを尊重していこうと思いました。また、子宮頸がんのワクチンを受けたり、定期的に検診に行ったりしようと思います。
- 命の大切さについて改めて自分で考え、それと同時に生命が誕生することは当たり前ではないことがわかりました。また、お母さんがどれだけ大変な思いをして僕を産んでくれたかを知り、僕が今こうして生活できていることに感謝の気持ちを忘れず、もし自分が親の立場になったら適切な対処ができるようにしていきたいと思います。
- 男性がコンドームをつけたり、女性がピルを飲んだりして性行為をしても、受精する確率が0%ではないと知って驚いた。子どもが育てられない状態で性行為をすると、誤って受精することもあり危険だと分かった。
- 最近「性自認」という言葉を良く聞きますが、体だけでなく心や恋愛対象などの面で別の性があるのもいいんだと考えが広がりました。命の大切さを深く考えるこのような機会があって良かったです。

- 今日のお話を聞いて、命について色々なことが分かった。特に、「性＝恥ずかしい」という偏見を持っていた自分にとっては為になるものばかりだった。また、性交渉の話では、相手の気持ちを考え、同意を得ることの大切さや、避妊をすることの重要性について分かった。もし、今後そのような機会があれば、今日のことを思い出して活かしたい。
- 僕はずっと、結婚した瞬間か、コウノトリが赤ちゃんを運んでくれるかのどちらかで子供が生まれると思っていたため、誤った理解を正すことができ良かったです。僕が生まれた時も、この15年間も、守ってくれた親に感謝してもしきれないです。僕自身に好きな人はまだいませんが、僕のことを好きになってくれる人が出来た時に今日の話を出し、お互いを苦しめず、幸せになれるように努めます。
- 今日は様々な知識を得ることができました。普段、こういうことをしっかりと調べたり聞いたりする機会がないので、とても自分のためになりました。コンドームが避妊用具なのは知っていましたが、ゴムをつければ100%大丈夫だと思っていたので、そうではないと知って気を付けようと思いました。また、コンドームのつけ方などが僕は明確に分かっていなかったため、今回、知識として分かって良かったです。
- 赤ちゃんが生まれることが、明るいこととは限らないということを知りました。助産師は心のケアもすることを知って、助産師という仕事に興味を持ちました。赤ちゃんがお腹の中にいる時の大きさ、成長に驚きました。また、避妊薬（低用量ピル）や緊急避妊薬（アフターピル）があることを知りました。今後も命が大切なことを忘れないように生活していこうと思います。
- 性感染症にはたくさんの種類があり、しかも気づきにくいので、将来検診をしっかり受けて、何かあった時に自分で考えられるようにしたい。これからの人生で性行為をする時が来たら、お互いの同意を得ることや、意見をしっかりと伝え、嫌なことはしっかりと断られるようにすることが大切だと思った。
- 命の誕生のしかたや大切さが改めてわかった。人それぞれに性のありかたがあると知り、これから、性との向き合い方や考え方についてもっと知り、認め合えたらいいなと思った。また、スマホでのトラブルにも注意しながら使いたいと思った。性についての問題やトラブルがあった時は、相談してすぐに解決できるようにしたい。親に感謝して、自分の命を大切にしようと思う。
- 世界では、性の多様性が支持されてきているが、日本はかなり遅れていることを知りました。日本でもLGBTQ等に対する偏見や差別が無くなって欲しいと強く思います。
- 今回の授業を通して、命の大切さだけでなく、性行為や避妊、出産など、今まで学べる機会が少なかったことも学びました。今はまだよく分からないことが多いですが、今後きっと役に立つ時が来ると思うので、今回学んだことをしっかりと覚えておきたいと思います。
- 生まれたばかりの赤ちゃんが、呼吸をするために泣いて、酸素を肺にたくさん取り入れるという作業をしていることがわかりました。また、相手と自分が両方とも「いいよ」という許可を得ることがわかりました。自分だけとか、相手だけとかではダメで、自分がもし嫌だと思ふことがあるなら、「いや」としっかりと伝えていきたいです。
- 最近、出会い系のサイトの利用者が増加していることもあって、性感染症の患者が増加しているので、私はそのようなものを利用しないようにしたい。異性のことを良く考えて、より良い生活を送りたい。
- 現在、スマホを使って誰とでもすぐに繋がれるからこそ、そこには大きな危険もあるのだなと思いました。これから将来に向けて正しい知識をしっかりと覚えて生活し、自分の命を大切に、そして他人の命も大切にしたいです。
- 性行為はお互いの同意が必要なことや、胎児の発育のこと、パートナーとの交際には段階があることなどを知ることができた。性の多様性については、生物学的な性、性自認、性的指向などたくさんの要素があることがわかった。今の世の中は、性差別があったり、多様性に対応していない部分があると思う。差別を完全になくすことは難しいと思うけど、多くの人が多様性を理解することが大切だと思う。
- 今回の「生命の授業」によって命の大切さを改めてしっかりと考えることができました。赤ちゃんができる過程や、望まない妊娠をしないための方法などもしっかりと学ぶことができました。また、パートナーとの関わり方や、段階を踏んで関わっていくことの大切さがわかったので、今後そのような機会があった時には今回学んだことを生かし、ちゃんとした関わり方をしようと思いました。そして素晴らしい人生を歩んでいこうと思います。

3年生全員の感想を読ませていただきましたが、どの生徒も命や性について自分のこととして捉え、命の尊さやパートナーとの関わりなどについて考えるきっかけになったようで嬉しく思っています。これからたくさんの出会いが皆さんを待っています。自分や相手の生命を大切にするために、自分の頭でしっかり考え、より良い判断や行動ができる高校生、そして大人になってください。 増田

